

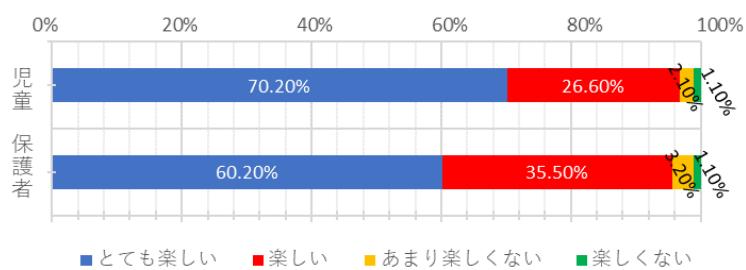
保護者様

上田市立長小学校長 代行 武田敦子

## 令和7年度 児童保護者アンケート結果について

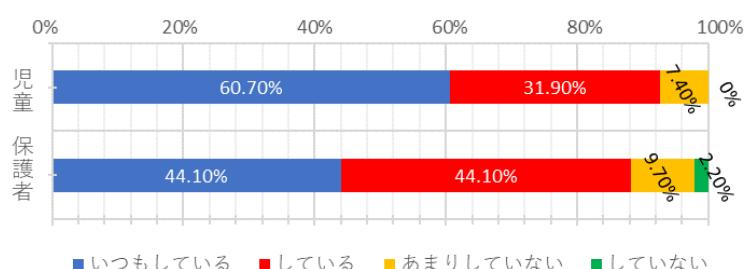
児童のアンケートと、保護者の皆様にご協力いただいたアンケートからわかったことと今後の取り組みについてご報告いたします。

### I 学校が楽しいと感じているか



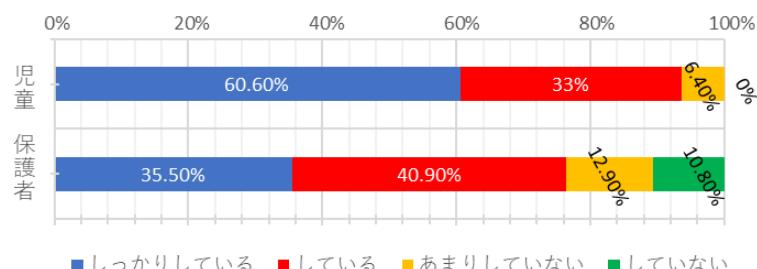
児童も保護者の方も「とても楽しい」「楽しい」が95%を超える回答でした。児童の「楽しい」の中身については、辛いことや苦しいことに「本気」で立ち向かったり、「お友だちや先生と相談」したりしながら、乗り越えた達成感を感じたことが含まれていることが分かりました。今後も、教職員一同、子ども達一人ひとりの声に耳を傾け、保護者の皆様と共に進めていきます。

### 2 気持ちのよいあいさつをしているか



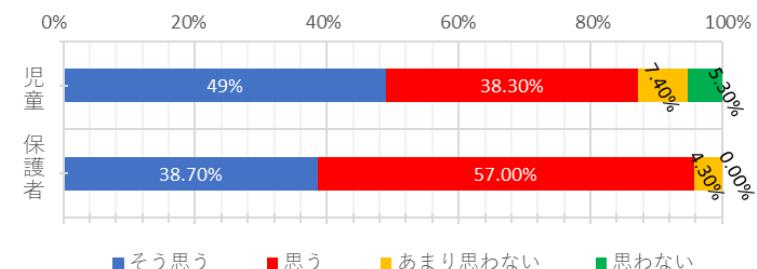
学校では「いつもしている」「している」を合わせると92.6%、「していない」児童は0%でした。毎朝、校門での出迎えや、児童会での取り組み等の成果が出ていることが分かります。一方、家庭では「いつもする」が減り、「あまりしていない」「していない」が増えています。学校外でも気持ちのよいあいさつができるよう、地域や家庭と連携して取り組む必要があることが分かりました。

### 3 家で自分から家庭学習や読書をしているか



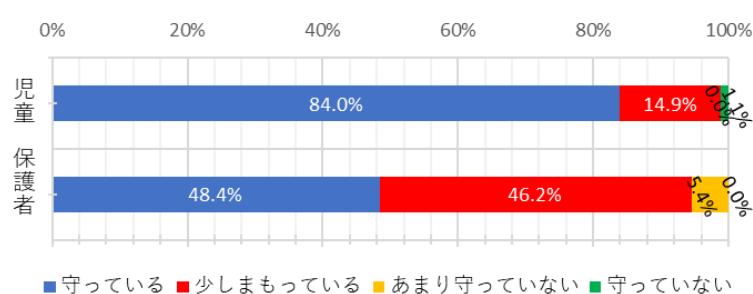
児童は、家庭学習を「あまりしていない」が6.4%で、その他の93.6%の児童は「しっかりとしている」「している」と回答しています。今年から設定した「紡ぐ」の時間の自己プロデュースの成果が出ていることを感じます。一方、保護者の方は「あまりしていない」「していない」が23.7%でした。「自分から」家庭学習に取り組むことができるよう、メディアから離れる、時間を決める、場所や環境を整えるなど、家庭と連携して取り組む必要があります。

### 4 自分(お子さん)にはいいところがあると思うか



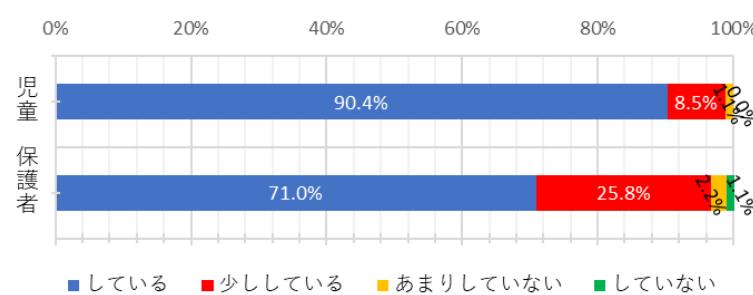
児童の回答は、「あまり思わない」「思わない」が12.7%でした。保護者の回答では、「思わない」が0%で、「そう思う」「思う」が95.7%の回答でした。学校でも、それぞれの児童の自己発揮の姿を認め、励まし、伝えてきました。児童の自己肯定感につながるよう、普段の生活はもちろん、行事の取り組み等で、学校と家庭と連携して、努力を認めよさを伝えていければと思います。

## 5 学校のきまりやマナーを守っているか



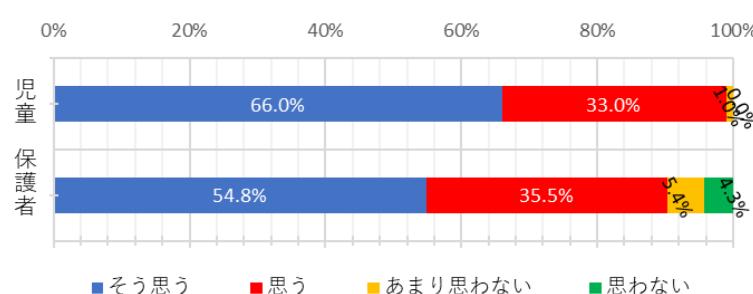
児童や保護者の方の回答で、「している」「少ししている」を合わせるとそれぞれ 98.9%、94.6%でした。多くの児童が決まりやマナーを守ろうとしてきたことが分かります。これからも、その姿を認め、ほめ、励ましていきたいと思います。また、「していない」と回答した児童もいます。今後も、決まりやマナーを守ることの意義や大切さを伝えていきます。

## 6 お友だちを大切にし、仲良くしているか



こちらの回答も、98.9%の児童が「している」「少ししている」でした。多くの児童が、お友達を大切にしてきたことが分かります。一方、保護者の方の回答も、96.8%でしたが、児童の回答よりも、「している」が減って「少ししている」が増えていました。また、「あまりしていない」「していない」との回答が、児童よりも多いことが分かります。児童の、友だちとの関りについても、家庭と連携して、進めていきたいと思います。

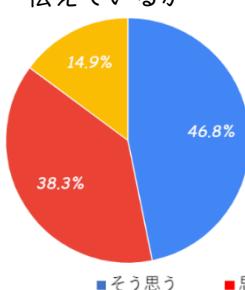
## 7 したいこと、やりたいことに自分から取り組んでいるか



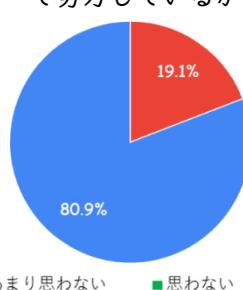
保護者の方へのアンケートでは、「授業に意欲的に取り組んでいますか」という項目です。児童は、99%が「そう思う」「思う」と回答しました。7月のアンケート結果よりも、高くなっています。相手意識をもって問題を発見し、協働的に課題解決に向けて取り組んだことで、多くの児童が主体的に学ぶことができたと考えます。「あまり思わない」と回答した児童への支援と、保護者の方への発信も続けていきます。

### 児童アンケートより

#### 8 自分の考えを伝えているか

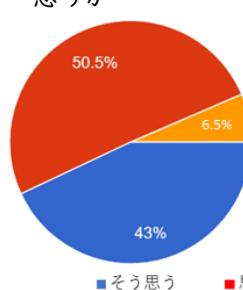


#### 9 自分の目標に向かって努力しているか

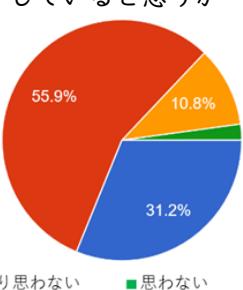


### 保護者アンケートより

#### 8 自己発揮していると思うか



#### 9 学校の授業で理解していると思うか



昨年度の 81% から、85.1% になりました。自分らしく表現できるよう研究を進めた成果だと思います。伝えることのおもしろさや大切さを実感しながら、伝えることができました。

100% の児童が努力することができたと回答しました。学校生活や行事に対して、目標をもち、それに向かってみんなで乗り越えることができてきたことが分かります。

「自己発揮」3年目になります。お子さんが、自分の思いや願いに向かって、問題や課題を解決しようと試行錯誤している姿を認め、励ましてください、ありがとうございました。

本年度、授業の本質に迫る「見方・考え方」についても考え方、授業の構成について研究してきました。これからも ICT を効果的に使ったり、少人数のよさを生かした個別最適な学びの場を設定したりしながら、学習への理解を深めていきます。

## 1. 長小のよいところ、もっと伸ばしていきたいところ

- ・自然豊か　　・少人数　　・みんな仲がいいこと　　・自己発揮　　・校外学習　　・自校給食
- ・異学年交流、縦割り班活動、長っ子タイム、長っ子遠足…いろんな学年の子たちと関わるところ
- ・地域の方との交流、ふれあい　　・金管バンドの活動
- ・担任以外の先生方も子供たちのことを把握し、育ちを見守っていただけること

★今年度から異学年交流として、長っ子タイム（縦割り班活動）&長っ子遠足、運動会の縦割り班種目を実施しました。保護者の方からも、それらがよかったですとご意見をいただくことができ、今後もさらに工夫を加えてよりよい活動にしていきたいと考えています。学校職員の中からは、もっとペアやグループなど少ない人数での活動を取り入れたり、長っ子遠足では地域の方と地域の名所をめぐる活動を行ったりしていきたいという意見が出されています。

★今年度は、給食週間を実施しましたが、自校給食の良さを生かし継続して食育に力を入れていきたいと考えています。

## 2. 自由記述

保護者の皆様からお寄せいただいた記述のご意見ご要望に対して現時点でお答えできる事柄についてお答えいたします。ここに載せることができなかったご意見につきましては、今後活動を進めていく中でお答えしたり、来年度の学校運営に活かしたりしていきます。

### 《ご意見》

★多くの心温まるご意見をいただき、私たち職員の励みになります。これをさらなるエネルギーに変え、子どもたちの利益へつなげてまいります。

- ・先生方が子供一人ひとりを温かく見守りながらよりよい環境を常に考えてくださっている。
- ・いろいろな場面で学年関係なく熱心に指導していただき感謝している。
- ・子供たちに寄り添い、子供たちをよくみていただいているありがたい。
- ・授業ばかりでなく、毎週様々な活動を取り入れていただきありがたい。
- ・学校も授業も楽しいと言っている。毎日楽しく通えている。
- ・どの職員も誠実に対応していただき安心して学校に送り出すことができる。
- ・様々な体験やチャレンジをさせてくれる。
- ・子供たちが生き生きと金管をしている。

### 《要望》

○暑さ、寒さの中の見守り隊の方の体調が心配。長っ子見守り隊をなくして地域のみんなで安全を守つたらどうか。

→無理をしないでください、ということは学校から月に一回出しているボランティアの皆様への手紙でも再三お伝えしているところですが、確かに心配は尽きません。仕事を抱える保護者の方にとっては、下校時に見守っていただいていることは大変ありがたいことです。地域のみんなで安全を守っていくということについてはご協力いただき、子どもたちの安全をみんなで守っていきたいところです。

○学校から配られる行事ごとのプリントの説明がわかりにくい。

→具体的に教えていただきわかりやすいものにしていきます。知り合いの保護者の方に聞くなどの連携もお願いします。

○クマなどが出た場合の下校について、集団下校では不安。

→先日の学校だよりもお知らせしたとおり、地区によって対応が異なるため、クマの目撃情報をタイムリーに受け取れるラインやアプリの登録をお願いします。通学路に近い場合など緊急を要するものについては totoru でお知らせし、引き渡しを想定して動いています。

○子供に対して「お前」と言っているのを聞いた。

→どの職員も適切な言葉を使っていけるよう、人権感覚を磨き研鑽を積む機会をさらに作っていきます。

○新しい取り組みの結果を学校はどのようにとらえているのか共有してほしい。

→ありがとうございます。学校としても振り返りの時期がきており、今年度の反省を出し、来年度に向けて検討しているところです。年度末に今年度の振り返りと来年度の方向をお知らせしていく予定です。

○タブレットの使用について

タブレット上の情報やメディアがすべて正しいわけではなく、自分で考える力にも自信をつける指導をお願いしたい。クロムブックで遊んでいる時間が長い。休み時間にタブレットで遊んでいる児童がいると聞いているが、授業だけにでももらいたい。タブレット中心の宿題だと漢字がかけなかったり、理解していかなかったりすることがあるので筆記の宿題をお願いしたい。

→子どもたちのタブレットを使用する感覚や技術は想像以上です。使用については折に触れて約束や使い方について確認していく必要性を実感しています。また、タブレットの普及に伴い授業でどう使っていけばよいのか授業の質を高める研修をしていく必要性も実感するところです。

タブレットの使用については学校全体で授業のみ使ってよいこととし、休み時間には使わないことを確認しています。宿題についてはご指摘通り、書くこと、読むこと、タブレットで効率的に行うことなどをバランスよく取り入れて、一人一人にしっかりと力がつくような支援をしていきます。

学校の宿題では足りないというご家庭については、ぜひご家庭で課題を課してください、お子さんに力がつくように連携を図れたらと思います。

○紙ベースのおたよりと、totoru のおたよりをどちらかに統一してほしい。

→ペーパーレス化・確実な情報伝達・利便性の向上の実現に向けて配慮しながら totoru の運用をしてまいりました。学年だよりについては、totoru でも配信することで、親御さんも出先で確認できるのではないかと考えて発信してきました。今後は別紙のとおり、運用していくことを決めましたので、具体的な対応についてはそちらをご覧ください。

○路線バス通学ではなくスクールバス通学ができないか。

→学校からも意見として学校教育課にお伝えします。ご家庭からも働きかけをお願いします。

○下校のお迎えに来る保護者が児童クラブ側に車を停めるので、学校側に車が停まっていると通れないでの、停める場合は学校側に停めてもらいたい。

→ルールの順守をお願いします。

○集団下校がなく、家が遠いので、できるだけ友達と帰ってくるように伝えている。話をしながら帰ってくるので時間がかかるため、家に着くのが遅くなる。できるだけ早く帰るように指導してほしい。

→大事なご指摘ありがとうございます。学校でも折に触れ声をかけていきます。「まとまって帰る」ということも繰り返し伝えています。

様々な視点でご意見を頂戴し、教師の在り方を含め今年の取り組みについて振り返ることができました。頂戴したご意見を真摯に受け止め、今後の学校運営に活かして参ります。